

真宗総合研究所 研究紀要

31

目次

曇鸞撰『讚阿弥陀仏偈并論』の原初形態の復元とその思想史的意義……………	加来雄之	1
仏教と教育の関係性……………	川村覚昭	87
― 教育を成り立たせる「慈育」の所在―		
十二世紀の治水・利水と地域社会……………	川端泰幸	109
隋唐時代における道教・仏教と国家祭祀……………	雷聞	135
― 皇帝の凶像と宗教祭祀を中心に―	(浅見直一郎訳)	
二〇一二(平成二四)年度研究所報告……………		167
<i>Mahabuddhasana atihathha</i> (『偉大なる仏徳の註釈』)……………	清水洋平	251
― クメール文字からのローマ字転写テキスト―	舟橋智哉	

次
近年モンゴルにおける仏教研究概要……………M: ガントヤー

(松川 節 訳)

237

目

『新京図書館月報』からみる中日文人の心象風景……………李 青

219

日本における子供向けシェイクスピア翻案物の研究……………三浦誉史加

207

現代史における東アジアとエチオピア——予備的考察……………古川 哲史

187

寺本婉雅日記『新旧年月事記』翻刻……………高本 康子

143

三宅伸一郎

ラゲ・ヴィラ博士の中国旅行記 試訳(1)……………三宅伸一郎

123

ダシユシヨバラニ

保育者の資質向上へ向けたりカレント・モデル・カリキュラムの開発……………徳 岡 博 巳

109

「デジタルアーカイブ技術による契丹国の歴史考古言語資料の復原的研究と集成」

研究班二〇一三(平成二五) 年度研究 活動成果報告……………武 田 和 哉

39

I 二〇一三年度研究活動の概要

II 遼東仏塔初探—遼陽県塔灣塔について—

藤 原 崇 人

III	内モンゴル敖漢旗喇嘛溝の遼墓壁画に認められる、 台形胴の長頸リユートについて	等々力政彦
IV	遼墓出土契丹陶磁に見られる 契丹国（遼朝）社会の階層性について	町田吉隆
V	遼寧省遼河流域の遼代州県城址についての踏査報告	高橋学而
VI	契丹国（遼朝）の皇帝陵および 皇族・貴族墓の占地に関する一考察	武田和哉
	グシャイトグラーベンの凝灰岩層準から産する放散虫群集 （ジュラ系上部統、オーストリー国、ザルツブルク州）	鈴木寿志
		柴田みゆき
		周藤正史
		辻野泰之
		小木曾哲
		ダイエルシェ フォルカー
		三上禎次

ANNUAL MEMOIRS OF THE OTANI UNIVERSITY SHIN BUDDHIST COMPREHENSIVE RESEARCH INSTITUTE

Volume 31

Die oberjurassische Radiolarienvergesellschaftung zum Tuffithorizont im Gscheidgraben, Unken-Gebiet, Österreich (Upper Jurassic Radiolarian Fauna from the Tuffite Horizon of Gscheidgraben, Unken Area, Austria)

*SUZUKI Hisashi, SHIBATA Miyuki, SUDO Masafumi,
TSUJINO Yasuyuki, KOGISO Tetsu, DIERSCHE Volker und MIKAMI Teiji*

1

Research Report of “Restoration Research and Collection of the Khitan Country of Historical, Archaeological, Linguistical Records by Digital-Archives Technology” Study Team’s Result about 2013 Fiscal Year

The Outline of Our Study Team Activity in the 2013 Fiscal Year

TAKEDA Kazuya 39

The Elementary Study of Pagoda in Liao-dong, about Ta-wan Pagoda in Liao-yang Prefecture

FUJIWARA Takato 41

An Earliest Trapezoidal Sound-box Lute Depicted on a Tomb from Liao Dynasty, Lama-hao, Aohan Banner, Inner Mongolia

TODORIKI Masahiko 49

A Study of Social Hierarchy in Khitai Empire (Liao Dynasty) as Depicted in the Borial Pottery of That Period

MACHIDA Yoshitaka 64

Investigation on Town Walls of the Liao Dynasty Period in the Basin of the Liao River, Liao-ning Province

TAKAHASHI Gakuji 72

A Consideration of the Selected Location in Emperor Mausoleums and Royal, Noble Family’s Tomb, in the Khitai (Liao Dynasty)

TAKEDA Kazuya 86

Report; “The Model Curriculum Development of Recurrent Education for the Enhancement of Early Year and Child Care Professions”

TOKUOKA Hiromi 109

A Tentative Japanese Translation of *Prof. Raghuvira’s Expedition to China*, Part 1.

MIYAKE Shin’ichiro, DASH Shobha Rani 123

A Reproduction of Teramoto Enga’s Diary *Shinkyū Nengetsu Jiki*

KŌMOTO Yasuko, MIYAKE Shin’ichiro 143

East Asia and Ethiopia in Modern World History: A Preliminary Study

FURUKAWA Tetsushi 187

A Study on the Adaptations of Shakespeare’s Works for Children in Japan

MIURA Yoshika 207

The Spirit of Sino-Japanese Scholars, According to the Xin Jing Library Bulletin

LI Qing 219

Tibetan Buddhist Studies in Mongolia	
<i>GANTUYA Magsarjav</i> (Translated by <i>MATSUKAWA Takashi</i>)	237
A Romanized Text of the <i>Mahābuddhagūṇa atthakathā</i> (Commentary of <i>Buddha's Great Virtue</i>) in Khmer Script	
<i>SHIMIZU Yohei, FUNAHASHI Tomoya</i>	251
Daoism, Buddhism and State Sacrifices in Sui-Tang China	
<i>LEI Wen</i> (Translated by <i>ASAMI Naoichiro</i>)	135
Flood Control and Water Utilization of the Regional Society in the 12th Century Japan	
<i>KAWABATA Yasuyuki</i>	109
The Connection Between Buddhism and Education—Significance of the “Benevolent Cultivation” Underlying Education	
<i>KAWAMURA Kakusho</i>	87
A Reconstruction of the Original Format of the <i>Zan Amitufo jie bing lun</i> (Verses and Treatise in Praise of Amituo Buddha) by Tanluan	
<i>KAKU Takeshi</i>	1
<hr/>	
Reports	167

編集後記

今日、真宗総合研究所には数多くの研究班が設けられ、研究活動が精力的に進められております。その活気を反映して、『研究紀要』第31号は内容・分量ともにたいへん充実したものとなりました。原稿をお寄せいただいた先生方、編集作業にご尽力いただいた方々にこの場を借りて厚くお礼を申し上げます。

今号には、『研究紀要』第29号に掲載されたダシュ ショバ ラニ先生の論文に関する訂正とおわびが掲載されております。この件では、研究所の発行物である『研究所報』と『研究紀要』が研究員の活動を阻害するという、まさに研究所の使命にもとる結果を招くに到りました。

このような過ちを二度と起こさないためにも、『研究紀要』の編集に携わる私たちは、研究者にとっての命にも等しい研究論文を原稿としてお預かりしていることを決して忘れてはならないと思います。

(研究所主事・藤田義孝)

大谷大学真宗総合研究所研究紀要 第31号

2012(平成24)年度研究報告

2014(平成26)年3月31日 発行

編集 大谷大学真宗総合研究所

代表者 所長 浅見直一郎

装丁印刷 創栄図書印刷株式会社

発行 大谷大学真宗総合研究所

〒603-8143 京都市北区小山上総町

Tel. 075-411-8498 Fax. 075-411-8435

http://www.otani.ac.jp/crj/SBCRI_index.html

訂正とおわび

『大谷大学真宗総合研究所研究紀要』第29号に掲載されたダシュ ショバラニ講師の論文「インド東部・オリッサにおける貝葉写本の研究動向」の冒頭(239頁)に付された*印の脚注の全文を削除いたします。

当研究所発行の『大谷大学真宗総合研究所研究所報』第59号(16-17頁)に、2010年度一般研究成果概要「オリヤー文字サンスクリット貝葉写本調査」(研究代表者・山本和彦教授)が掲載されておりますが、この報告は、研究員であったダシュ講師の本論文の原稿の一部を無断転用して研究代表者が作成したものです。そのため、この報告には、当該一般研究の業績とは異なる内容の、ダシュ講師が学外のさまざまな研究プロジェクトで行った研究の内容が盛り込まれることとなり、結果として学外機関の研究成果を大谷大学真宗総合研究所が不正に取得し、自らの業績として発表したことになりました。

また、『研究紀要』の刊行時にはすでに『研究所報』が刊行されていたため、編集を担当していた当時の研究所主事が自らの判断で、『研究所報』掲載の報告はダシュ講師の今回の研究成果に基づく、との注記をダシュ論文の冒頭に脚注の形で加えましたが、その際この脚注が編集者によるものである旨が明記されなかったため、ダシュ講師自身が上述の不正に関与した疑いを招きました。

そこで今回、一連の経緯をご説明するとともに、ダシュ講師の論文を本来の形に戻すため、*の脚注の削除をお願いすることといたしました。多大のご迷惑をおかけした関係の研究機関、研究者・協力者の方々、そしてダシュ講師に深くおわび申し上げます。

真宗総合研究所長

浅見直一郎